



—東北生産性本部—

# 労使セミナー開催

総合住宅建設業として、真にお客様のための家づくり、職人さんへの感謝と敬意の家づくりを実践。多くの特許を持つ独自のスモリ工法を開発。「山からの一貫体制による家づくり」の実践で「お客様が喜ぶような結果」を出すことを目指しており、「地域社会全体」からの「信用と信頼」を獲得する事により、真の繁栄を実現することがスモリの家の思想の目的としております。須森社長は徹底的に、地域の発展・成長に寄与することを考えて仕事を進めております。

大震災から3年、地域のあらゆる企業の労使の羅針盤として、須森社長のマネジメントを研修するセミナーを開催しました。



## ■労使セミナー(6月5日開催)60名参加

☆テーマ 「大震災で学んだこと」

☆講師 スモリ工業(株)

代表取締役社長 須森 明 氏



須森社長は、20歳で起業され、40歳までは事業（商売上）はお金がないと信用されないことから一所懸命働いたが、お金や欲、見栄などにより自律神経失調症やパニック障害などに罹り人生観が変わられたとのことでした。

須森社長は、家づくりを通して「人に喜んでもらう」「お客さまを幸せにしたい」という気持ちに切り替えたところ前述の病気が治っていったそうであります。

その経験から、「人に喜んでもらうことに徹すること」が、地元で生かされ、信頼されることと述べられました。また、こつこつと正直にやることが生かされることとも説かれました。

また、先の大震災を経験して、人が困ったときに助けることが人であり、企業であるとの信念から、被災されたお客さまに恩返しをしたとのことでした。

須森社長はお客さまだけではなく職人さんにも常に感謝しておられ「言葉だけでは信用が生まれない」「行動が先で言葉は次」と、社員が現場に行く際は職人さんへのお茶菓子などを必ず持参させているとのことがありました。

大震災を経験して、改めて「粘り強さ」「我慢強さ」「助け合い」など「東北人としての誇り」を痛感した。日本のどこにも負けない東北人らしく、今後も震災を乗り越えていまいしょうと参加者の皆様にエールを送られました。

参加者からのアンケートでは「社長の経営理念などに感銘を受けました」などの意見が寄せられた有意義なセミナーとなりました。参加者の皆様、そしてスモリ工業社員の皆様にも大変お世話になり、ありがとうございました。（S. Y）